

## 工場水源域の森林保全およびコカ・コーラ「森に学ぼう」プロジェクトの実施



### 活動の場所

17工場水源域の森林など



### 活動目的

- ・ 水源涵養能力の向上による、製品に使用した水の自然還元
- ・ 環境教育プログラムを通じた、生物多様性や生態系保全の重要性を啓発

### 活動内容

コカ・コーラ ボトラーズジャパンでは、17工場の水源域、約8,100haにおいて地域の森林組合などと協定を締結し、森林の持つ多面的機能を最大限に発揮するため、長期的かつ継続的に活動しています。

各組合とは事業計画書に基づき、植栽、植林、下刈、間伐などの森林保全や森林整備を定め、定期的実施報告を受けることで、製品に使用した水の自然還元を示す水源涵養率は353% (2021年実績)となりました。日本各地に広がる森林などで適切な保全活動を行っています。

長年にわたり、「自然や水の大切さ」や「人と自然のかかわり」、「環境保護の意義」を理解していただくことを目的とした、環境保護・環境教育のプログラム、のコカ・コーラ「森に学ぼう」プロジェクトを全国で実施しています。すべての地域で共通して、水源涵養、および生物多様性への理解を深めていただく内容と、地域特性を活かした内容を組み立てた自然体験型の環境教育プログラムを行っています。

### PRしたいポイント

私たちは、地域社会とのコミュニケーションを大切にしながら、持続可能な地域社会の発展や社会課題の解決に向けて取り組んでいます。地域のみなさまにとっても重要な財産である水源の涵養や自然保護活動を通じ、環境への理解を深めていただくことを重要と考えています。

### 活動効果、今後の展開 等

各組合や自治体からのヒアリングをもとに、水源域の近隣に生息している固有の生物や絶滅危惧種などの紹介を取り入れた、生物多様性コンテンツを「森に学ぼう」で取り入れています。

コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社

<https://www.ccbj.co.jp/event/detail.php?id=332>

[https://www.ccbj.co.jp/csv/pdf/report/ccbji/csv\\_report\\_2022.pdf](https://www.ccbj.co.jp/csv/pdf/report/ccbji/csv_report_2022.pdf)